

いま、『協同』が創る 2014 全国協同集会 in 九州・沖縄

協同の力で働く喜び、生きるよろこびを！

～ 集まらんですか、語らんですか。平和尊び、生命輝く未来へ～

韓国地域自活センター協会のオ・サンウン会長より お礼のメッセージが届きました！

韓国地域自活センター協会のオ・サンウン会長より、お礼のメッセージが届きました！日本語訳と韓国語の原文を掲載します。

意味深く幸せな時間でした

オ・サンウン（韓国地域自活センター協会会長）

夕暮れから夜明けにかけて福岡行きの飛行機に乗って急いで行ってきましたが、多くの余韻が残る貴重な時間となりました。もちろん滞在期間が短くて残念でしたが、集会での私たち韓国地域自活センター協会と日本労働者協同組合との包括的協同協定締結式は感動的であり、続くセッションごとの討論会も良かったです。特に包括的協同協定は、単純な協定関係を越えて韓日両国間の民間レベルでの新しい動力を用意したと自負してもよさそうです。これは市場と無限の競争を越えて、相互互恵と協力という方法で協働社会経済の領域と地域住民共同体運動を拡大させることを両国が協力しよう、という下からの宣言だからこそです。

特に、ビジネス的な協力を超え、私たちが取り組む社会的、経済的な活動の価値と哲学、そして最終的な住民共同体運動の方向性を明らかにし、さらにそれらを共有できたことはより一層意味深いものです。

これからは初心を大切に、実際に私たちが一緒に取り組む活動と課題についてともに考え、相談し、より持続的な活動をしていく必要があるでしょう。

これまでの協定締結のために努めていただいた方々、特に今回の全国集会に招待していただき、おもてなししていただいた永戸祐三理事長をはじめ、国際連帯の実務チーム、ノヒョブ役員全員に心から感謝の挨拶を申し上げます。ありがとうございました。



オ・サンウン会長



締結式の様子

뜻 깊고 행복한 시간이었습니다.

오상운 (한국지역자활센터협회 회장)

어스름 새벽부터 후쿠오카 행 비행기를 타고 서둘러 다녀왔지만 많은 여운이 남는 소중한 시간들이었습니다. 물론 체류기간이 짧아 아쉬웠지만 일본노협 전국 집회에서 우리 한국지역자활센터협회와 포괄적 업무 협약식은 감동적이었으며, 이어지는 세션 별 토론회도 좋았습니다. 특별히 일본노동자협동조합연합회와 맺은 업무협약은 단순한 협약관계를 넘어서서 한일 양국간 민간 차원의 새로운 전기를 마련했다고 자부해도 좋을 듯합니다. 이는 시장과 무한 경쟁을 넘어서 상호 호혜와 협력의 방식으로 협동사회 경제 영역을 확장시켜 내면서 지역 주민공동체 운동을 확산시켜내는 일을 양국이 함께 협력하여 해보자는 아래로부터의 선언이기에 더욱 그렇습니다.

특히 사업적 협약을 넘어서서 우리가 이루고자 하는 사회적경제 활동의 가치와 철학 나아가 궁극적으로 이루고자 하는 주민공동체운동의 방향성을 분명히 하고, 나아가 함께 공유하면서 이루어졌기에 더욱 뜻 깊었습니다.

이제 그 첫마음을 잘 간직하면서 실제 우리가 함께 해 나아갈 활동과 과제에 대해 함께 숙고하고 의논하여 보다 지속적인 활동을 잘 해내야 할 것입니다.

그동안 업무협약을 위해 애써 오시고 특별히 이번 일본노동자협동조합연합회의 전국집회에 초대해주시고, 환대해 주신 나가타 유조 이사장님을 비롯하여 국제연대 실무팀, 노협 임원진 모두에게 진심으로 감사의 인사를 드립니다. 고맙습니다.

韓国地域自活センター協会がプレスリリースを發表

2014年11月25日、韓国地域自活センター協会が今回の集会についてのプレスリリースを發表しました。日本語訳を掲載します。

【URL】 <http://media.daum.net/press/newsview?newsid=20141125141116130>

韓国地域自活センター協会・日本労働者協同組合連合会が協定書を締結
両国の失業・貧困を解決するための民間交流の場を開く

去る11月22日(土)日本の福岡で2014「いま、『協同』が創る2014全国協同集会 in九州・沖縄」が盛大に開かれた。ここに(社)韓国地域自活センター協会(会長オ・サンウン)所属の40人を含め試合自活の企業連合、代替労働者協同組合連合会、釜山協同社会研究会など韓国参加団約70人が参加した。

大会のハイライトで韓国地域自活センター協会と日本労働者協同組合連合会の包括的協同協定締結が行われ、これを契機に両国の団体が失業と貧困の問題を解決するために交流と事業を継続する足場が用意されることになった。大会当日講演のために参加した姜尚中東京大学名誉教授は「民間での歴史的な日韓交流」と感激しており、オ・サンウン韓国地域自活センター協会会長と永戸祐三日本労働者協同組合連合会理事長は、2015年、一段階高い交流事業のために両団体の日程を共有することから始めようと提案した。

一方、今回の協定は、両団体が過去10年間交流してきた成果であり、過去2年間の実務協議を準備してきた結果だ。協定文の内容には、両国の失業と貧困の問題を解決するための民間の努力だけでなく、国の責任を高めるための両方の組織の役割が包括的に含まれており、組織的な交流と研究、技術協力など具体的な協定8組で構成されている。

今後5年間効力を発揮する今回の協定締結により、民間団体間での日韓交流という実験が開始されたし、これを契機に両国が直面している貧困と雇用の問題を解決するきっかけになることができると期待している。

発行：いま、『協同』が創る2014全国集会 in九州・沖縄実行委員会事務局
事務局長 奥治 担当 大場寛

〒812-0043 福岡市博多区堅粕4丁目1番12号鳴井ビル2階21号

電話 092-441-7587 F A X 092-441-8281 Mail : kusukb@roukyou.gr.jp

